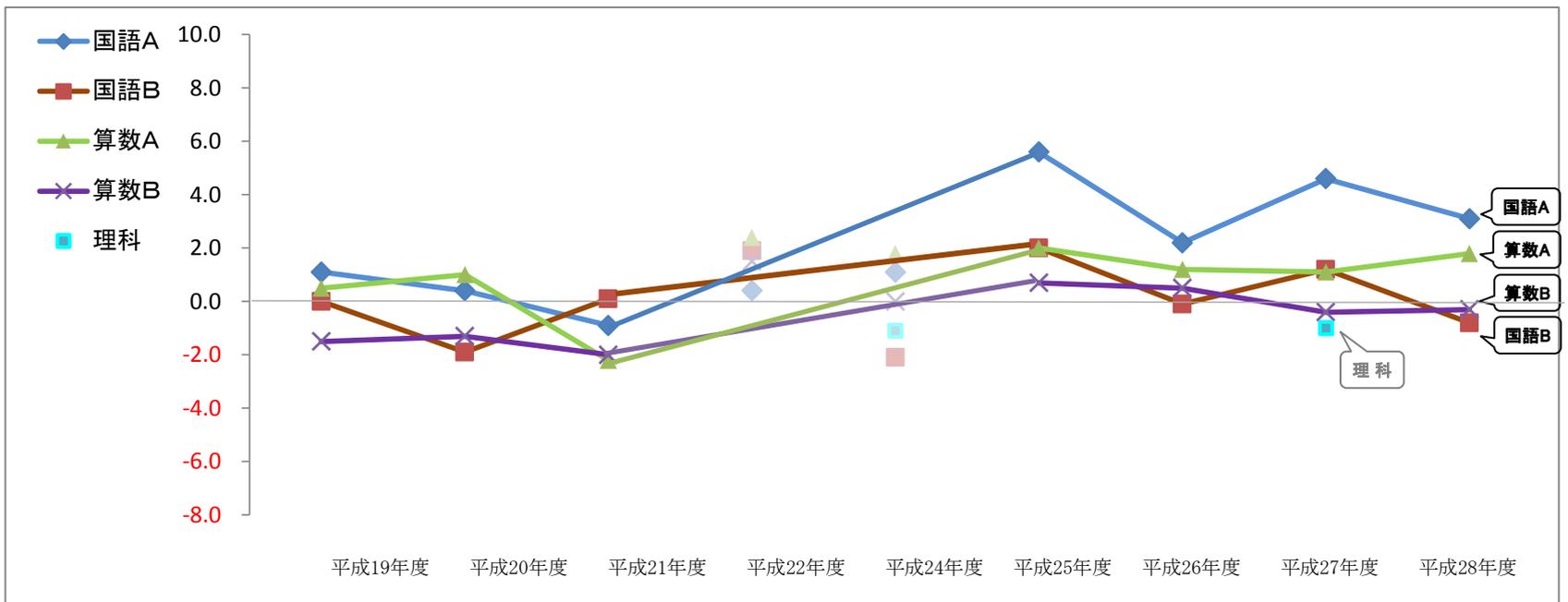


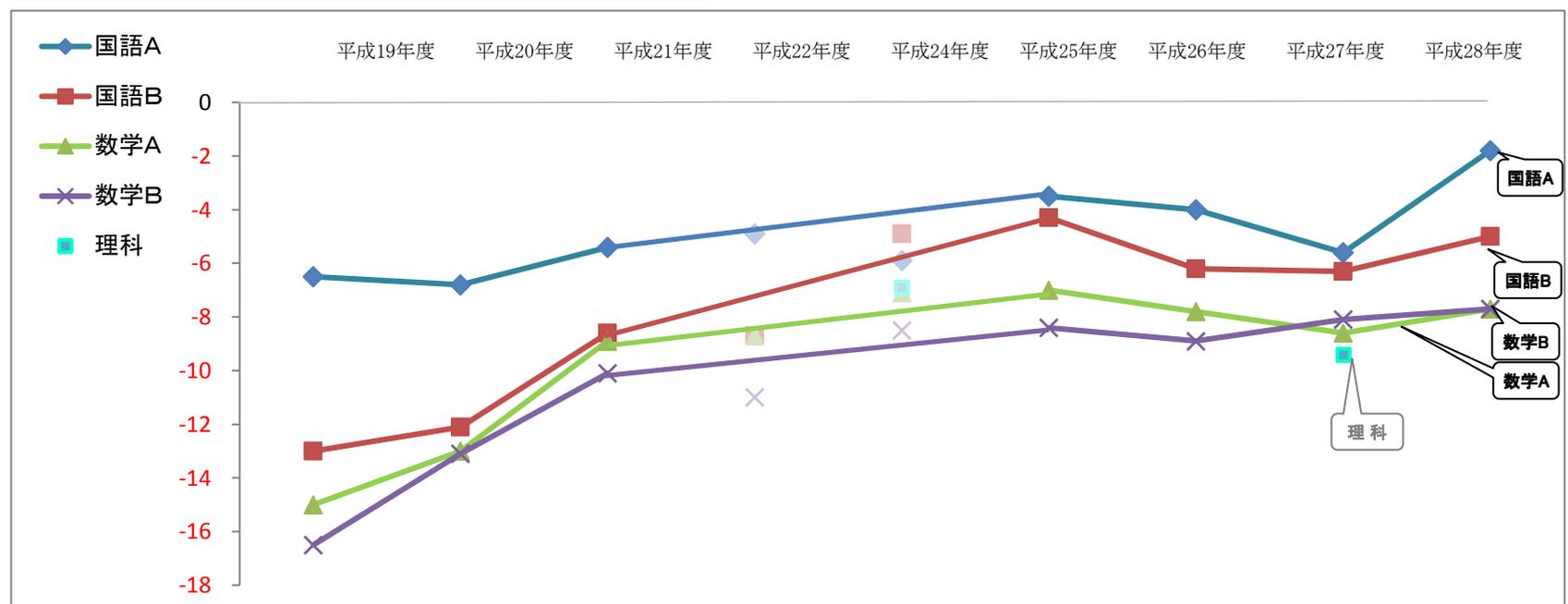
平成19～28年度における高知市平均と全国平均の差の推移

小学校第6学年（平成28年度は義務教育学校後期課程を含む）



高知市の小学生の平均正答率は、国語Aにおいて3.1ポイント、算数Aも1.8ポイント全国平均を上回りました。B問題においては国語・算数ともに全国平均を若干下回りましたが、小学生については全国平均レベルを維持しています。調査結果から見た成果としましては、国語Aにおいて「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域が昨年に引き続き良い結果が見られています。また昨年まで課題であった、算数の「図形」領域においては、A・Bともに全国平均を上回る結果となりました。さらに、算数のB問題記述式において、全国平均正答率を上回る結果となっています。課題としましては、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域において、全国平均正答率を下回る結果となり、さらなる手立てが必要とされます。これらの課題を改善するため、引き続き「子どもが分かる・楽しい授業をめざした『授業改善』」や「意図的な学びなおしの場の設定」等といった取組について、この調査結果を元に組織的に検証を行い、着実な改善を図っていきます。

中学校第3学年（平成28年度は義務教育学校後期課程を含む）



高知市の中学生の平均正答率は、全教科において改善が見られました。特に国語Aでは、全国平均まであと1.8ポイントまで近づき、他の教科でも昨年度と比較して0.4から1.3ポイント向上しています。全国平均を下回る状況は変わっていませんが、改善傾向が見られていることは一定評価できるものと考えています。また、本年度生徒質問紙調査では、中学校で「学校の授業以外で全く勉強しない」生徒の割合が2年連続で全国平均を下回り、「1時間以上勉強している」生徒の割合が全国平均を初めて上回るといった成果も見られており、学習習慣が定着してきている生徒が確実に増えてきています。同調査中「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の問いは4割以上が強い肯定を示し、肯定的な回答は8割を大きく超えています。「自分にはよいところがある」という問いに肯定的に答えた生徒も7割を超えており、今後とも学力向上と学びに向かう人間性の育成の取組をすすめていきたいと考えています。